

【参考資料 6】

廃棄物等の発生量

区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
	発生量	発生量	発生量	発生量		
可燃物	80,600 kg	70,105 kg	51,135 kg	48,439 kg		
実験廃液	16,519 L	13,866 L	13,474 L	12,362 L		
循 環 資 源	廃プラスチック類	15,054 kg	15,090 kg	15,354 kg	14,022 kg	
	ペットボトル	1,664 kg	1,664 kg	1,600 kg	1,585 kg	
	アルミ缶	542 kg	504 kg	388 kg	320 kg	
	金属くず	8,144 kg	8,519 kg	6,249 kg	4,601 kg	
	機器等	2,850 kg	2,223 kg	1,141 kg	427 kg	
	電池類	435 kg	469 kg	280 kg	309 kg	
	蛍光灯			951 kg	672 kg	
	古紙	46,528 kg	49,469 kg	52,139 kg	36,048 kg	
	空き瓶	5,475 kg	4,827 kg	4,778 kg	4,468 kg	
	ガラスくず	1,986 kg	1,741 kg	1,879 kg	1,608 kg	
	感染性廃棄物			20 kg	36 kg	
生ゴミ		2,832 kg	8,992 kg	9,251 kg		
合 計	179,797 kg	171,309 kg	158,379 kg	134,146 kg		
研究所の職員数	1,006人	982人	965人	1,001人		
1人当たりの発生量	0.490kg/人・日	0.478kg/人・日	0.450kg/人・日	0.367kg/人・日		

注1 生ごみについては、コンポスト化により可燃物から循環資源へ区分変更(17年12月より変更)

注2 循環資源は、リサイクル専門の外部業者に全量を処理委託した。

注3 合計の重量は、実験廃液を1リットル=1kgと仮定して計算した。

注4 職員数は、通年で勤務している人数を勤務形態等から算定した数で、資料64の「常勤換算数」による。

注5 所内の研究及び事務活動から直接生じたものを本表の集計対象としている。